

藤 沢

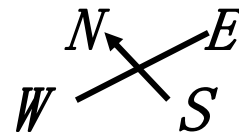
エコ ネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2025年3月1日

第370号

<http://econet2015.sakura.ne.jp>事務局 e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp 青柳

☎ / FAX 0466-87-4922

主
な
記
事

- ・みんなでアクション！
- ・福島原発事故 14 年展
- ・サクラ開花・満開調査
- ・群れを作るのは生きるため

核兵器禁止条約にサインしないばかりか会議に参加もしない政府

2017 年 7 月、122 ヶ国（すべての国連加盟国の 3 分の 2 近くになる数）が賛成して、「核兵器禁止条約」が採択されました。そして、2021 年 1 月 22 日に、批准国（条約を最終確認し、承認・同意した国）が 50 か国を越え、「国際法」として発効しました。

この条約では核兵器を完全になくすしかないとはっきりと示されています。また、条約に参加する国々が、核兵器を開発、実験、生産、移転、保有、備蓄、使用または使用の威嚇、他国の核兵器を自国の領土に配備させることも禁止しています。核兵器を保有していない国が、他国による核兵器保有や使用の援助・支援に関わることもすべて禁じられています。

2024 年時点でこの条約に 94 の国・地域が署名し、73 の国が批准しています。日本は署名・批准しておらず、過去 2 回の締約国会議にオブザーバー参加もしていません。

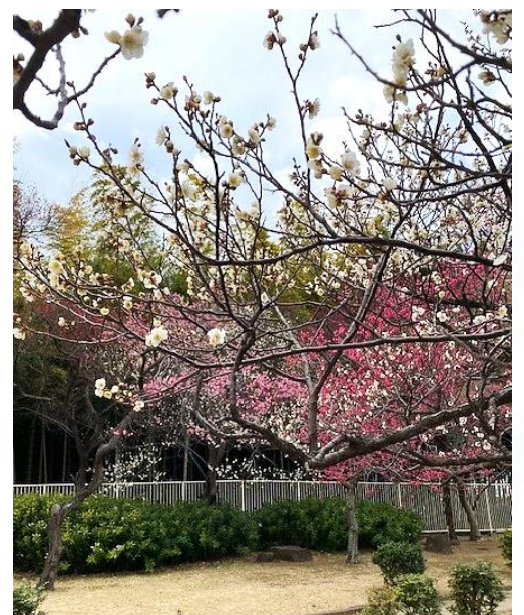
被爆 2 世として、私は恥ずかしくてなりません。世界で唯一の核爆弾を使われた国として、日本こそ、どこの国よりも真っ先に条約に署名すべきだったと思います。

2024 年 12 月、被団協（日本原水爆被害者団体協議会＝原爆投下から 11 年後の 1956 年に結成）が、ノーベル平和賞を受賞しました。

被爆者の立場から核兵器廃絶を世界に訴える活動や被爆者の援護を国に求め続けた運動が評価されたのです。私にとって、被爆者の地道な長きに渡る活動に対してノーベル平和賞が授与されたのは、望外の喜びでした。これで、日本政府の対応にも変化があるかもしれないと期待もしました。今年は、広島と長崎に原爆が投下されてから 80 年目に当たります。また、核兵器禁止条約の発効から 4 年目でもあります。

核兵器禁止条約の第 3 回締約国会議が 3 月 3 日から 7 日まで、米国で開かれます。ここに日本政府の代表を送ることは見送られました。その上にオブザーバーとしての参加も見送られました。被団協がノーベル平和賞を受賞しても、日本政府の態度に変化はありません。

アメリカの核の傘下にある政府は、シンプルに核兵器禁止に賛同するわけにはいかないのかもしれませんが、本当に情けないことです。
(すどうゆりこ)



ウメ 円行公園、今年は例年より遅く開花

みんなでアクション！ 一人では微力でも、みんなでやれば効果は大きい！！

最近の異常気象、観測史上初の大雪で話題がつかないこの頃です。1.5℃目標実現に向けて世界中で取り組みが進められます。日本では2035年度までに、60%（2013年度比）、2040年度までに73%削減を閣議決定をし、国連に報告しました。

藤沢市は2050年までにゼロカーボンを目指して「気候非常事態宣言」を表明し、取り組みをしています。先年改定した地球温暖化対策実行計画を見直すことになり、環境審議会で審議が始まりました。

4月からは環境総務課内に置かれていたゼロカーボン推進担当が独立し「ゼロカーボン推進課」が誕生するそうです。省エネと再エネの取り組みが一層、強化されることが期待されています。

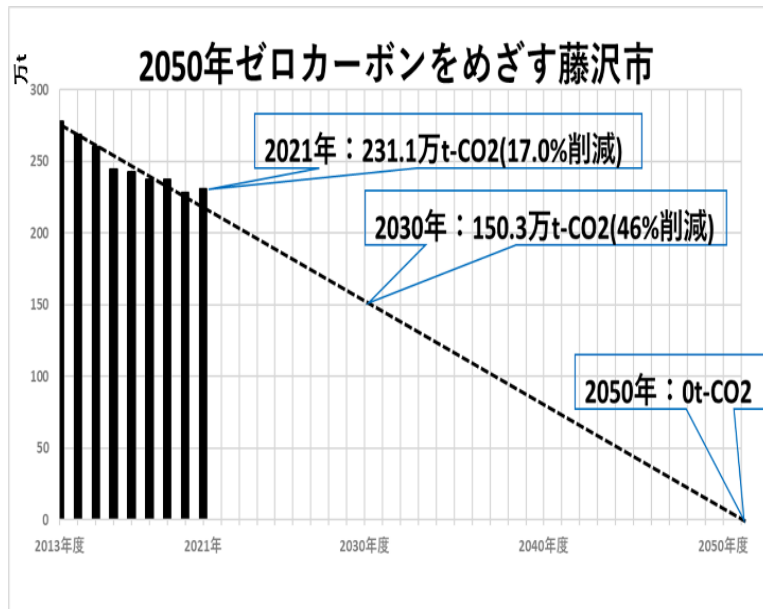
市民一丸となって取り組みが必要です。

最近の藤沢市の年間CO₂排出量：231.1万トン（2021年度、ふじさわ環境白書2024）

ここ3年連続で毎年CO₂排出量は予想値（バックキャスト法）をオーバーしています。

2019年度：+4.4万トン、2020年度：+2.9万トン、2021年度：+11.5万トン

このままでは目標達成が危ぶまれています。



市民みんなでCO₂削減に取り組むことを考えました。

- (1) エアコンの暖房温度を1度下げ、冷房を1度上げると年間約33kgのCO₂の削減
- (2) 待機電力を50%削減すると、年間約60kgのCO₂削減
- (3) 全市20万世帯で取り組むと：
 $(33+60) \text{ kg-CO}_2 \times 20,000 = 18,600,000 \text{ kg-CO}_2 = 18,600 \text{ t-CO}_2$
- (4) 近距離(2.5km程度)の移動は自転車をやめて自転車(CO₂排出kg)にした場合のCO₂削減量
 自家用車のCO₂排出量(1人を1km運ぶのに排出するCO₂の量)： $165 \text{ g-CO}_2 / 1 \text{ 人} / \text{km}$
 1台の車で移動距離2.5kmを1日2往復すると年間： 3650 km (10km/日×365日)
 1台の自動車に平均で2人が乗車していると： $7,300 \text{ km}$ ($3650 \text{ km} \times 2$)

年間CO₂排出量： $1,204,500 \text{ g-CO}_2$ ($165 \text{ g-CO}_2 / 1 \text{ 人} / \text{km} \times 3,650 \text{ km} \times 2$) = 1.2045 t-CO_2

藤沢市の自家用車保有台数：116,955台なので(2024年3月末)

市全体では： $140,872.3 \text{ t-CO}_2$ ($1.2045 \text{ t-CO}_2 \times 116,955$)

以上のことから、(3)と(4)の総計： $159,472.3 \text{ t-CO}_2 = 15.9 \text{ 万 t-CO}_2$

(出典：「2050 ネット・ゼロ藤沢」前日大生物資源科学部教授水谷広)

市民みんなで取り組みれば目標達成に効果があります！！

他にも省エネの方法はたくさんあると思いますので、計算してみてください(ふじさわエコ日和:エコライフチェック参照)。

近距離を移動するのに自家用車をやめて自転車に切り替えることでCO₂の削減できるだけでなく、ガソリン代が節約できるし、健康にも良いので、私は車をやめて、自転車を使っています。

一人ひとりのアクションは微力かも知れませんがみんなでやれば、大きな効果があります。

(藤沢市地球温暖化対策地域協議会員 宮地俊作)



「福島原発事故14年展」

東京電力福島第一原発事故からまもなく14年が経ちます。あの日故郷を奪われ、大切にしてきたものを失い、放射能の恐怖に怯え、先が見えない日々をいまだ送っている人たちが大勢います。

被災した方々の苦しみが続く中、多くの問題が未解決のまま、事故の収束さえできない状態であるにも関わらず、国は原発回帰へと大きく舵を切ろうとしています。

国民の命や安全よりも経済優先の国のあり方に「異議あり」と声をあげるべく、神奈川県内で活動する様々なグループや個人の有志が集まり、「**福島原発事故 14 年展**」の開催が決まりました。

開催期間は、3月28日(金)から4月3日(木)の1週間、毎日午前10時から午後6時まで。場所は、横浜駅から徒歩5分の、**かながわ県民センター1階**展示場です。

原発のこと、フクシマのことをあまり知らないという方にもわかりやすく見ていただける展示を目指し、アイデアを絞りながら、準備を進めています。

原発事故直後と十数年後の対比からみる被災地の姿をうつした「**豊田直巳写真展**」、さらには画家**山内若菜さん**の迫力ある作品もご覧いただけます。

展示だけでなく、トークや朗読などのライブ企画も充実していて、様々なゲストが登場します。

歌人の三原由起子さん、山内若菜さん、東京新聞の荒井記者、かながわ訴訟原告団長の村田弘さん、大磯から参加のこどもたちによる詩の朗読もあります。さらには、避難者の方々のお話を聞く企画もあります。

春休み期間中ですので、ぜひご友人と、ご家族と一緒に会場に足をお運びください。

入場無料ですので、お気軽にお越しいただけると思います。



会場でお会いするのを心待ちにしています。

(藤岡みどり 福島の子どもたちとともに・湘南の会)

群れをつくるのは 生きるため

秋から冬にかけて鳥の群れに出会うことが多くなります。先日、境川の堤防を歩いていました。立石までくると頭上の高圧電線にずらっと並ぶカワラヒワを見ました(写真1)。



高圧電線に止まるカワラヒワ

数えると約500羽でした。車や人が通り過ぎると、その電線から一斉に田んぼに降りて食事します。また人が近づくと飛び立って電線に戻ります。近くの下水处理場の立木の梢には別にやはり500

羽ほどが休んでいました。1週間後にまた行くと同じでした。この場所はカワラヒワのお気に入りのようです。

スズメも河原で群れています(写真2)。この時はざっと200羽でした。スズメは春から夏が繁殖シーズンで、私の住まいの石川でも倉庫のスレート屋根の隙間に巣を作り子育てします。夏の終わりからは群れの生活に移るようです。

冬場は茅ヶ崎の里山公園の池にコガモが群れています。水面で追いかけていたり、アシの中に隠れてもいるものあり、全体での数はわかりませんが数百羽でしょう。コガモは10月には集団で北から渡ってきますが、春までここにいて、パートナーを見つけやがて番(つがい)で北国に帰るのでしょう。



2 冬のスズメは群れで暮らします

鳥が群れるのは、群れの方が猛禽類(ワシやタカ)からの襲撃をやり過ごす確率が高くなるからだそうです。ハトの研究例で、1羽でいる時のタカの狩りの成功率は8割だが、群れの場合は2割だったそうです。群れだとタカは特定の個体をさがしにくくなるし、ハトにしてみれば群れだと単純に外部への監視の目が増えるということだそうです。

鳥が群れるのは、群れの方が猛禽類(ワシやタカ)からの襲撃をやり過ごす確率が高くなるからだそうです。ハトの研究例で、1羽でいる時のタカの狩りの成功率は8割だが、群れの場合は2割だったそうです。群れだとタカは特定の個体をさがしにくくなるし、ハトにしてみれば群れだと単純に外部への監視の目が増えるということだそうです。

(菅谷芳雄)

サクラ開花・満開調査

サクラの開花が待たれる頃となりました。

気象庁の生物季節観測は全国的規模では中止となり、藤沢市内では NPO 法人 CWS (Climate Watch Squeae) が呼びかけて市民参加による観測を続けています。気象庁の指針によると

開花日標本木に5～6輪の花が咲いた日、胴咲は含めない

満開日約80%以上が咲いた状態（同時に咲いた状態である必要はない）となった日

先ず、標本木を決め、スマホで写メできるだけご負担がかからないよう、自宅の近くや毎日通る道沿の木などで観察する。無理ないように。

観察場所（公園名・住所など）明記 標本木はソメイヨシノ見分け方（花の顎に密毛あり）



参加申込先：丸田

maruta.e.3026@gmail.com

観測地点の場所を明記（公園名、住所など）

~~~~~



## ECONET INFORMATION

### ▲布施祐仁さん講演会〈従属の代償〉

3月8日(土) 14:00～ 参加費当日 1000 円

藤沢市役所 5-2 会議室

主催：湘南平和憲法の碑を建立する会

問合せ エコストアパパラギ ☎50-0117

### ▲映画 「決断」 上映

3月9日(日)14:00- (13:40 開場)

藤沢市民会館第2展示ホール

前売券¥800 当日¥1000 (30 歳以下無料)

主催=福島の子もたちとともに・湘南の会

連絡先 090-2527-3200

### ▲ 福島原発事故 14 年展

3月28日(金)～4月3日(木) 10時-18時

写真展 ミニトーク 朗読など 参加無料

かながわ県民活動サポートセンター

主催:実行委員会 連絡先 090-2143-7348

### ▲「金子文子と朴烈」韓国の記録映画

3月16日(日)14時～エコストアパパラギ2階

3月17日(月)10時半～エコストアパパラギ2階

申込み：0466-50-0117 大人 1300 円

### ▲気候危機アクションを一緒にしませんか！

3月21日(金)14時～15時 藤沢駅北口

スタンディングします 当日参加大歓迎

主催 気候危機アクション藤沢

### ▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議 3月1日(土)10:00～ 六会公民館

《編集後記》三寒四温、ようやく春が近づいた。待ちに待った恵みの雨で少し潤ったか。新潟など日本海沿いは4mにもなる大雪、太平洋沿いは乾燥続きで山火事多発、このような異常気象は誰がしたのか。もはや例年の気候は遠くに去ったようだ。福島原発事故から14年、各地で催しも行われるが今も故郷に帰れず、苦しんでいる人がいる。「わすれない」だけではダメ、国の大きな援助が必要だけれど…。放射能汚染の影響はまだ解決されていない。

(H)